



学問による人間形成

生きていく支えとなる知性と感性を、統一的に育てる。

教員免許取得、通信制大学卒業、大学院進学……その先へ。
無意識に引いた「限界の線」を、共に超えていく場所。

- 難関教職大学院(東京学芸大学・早稲田大学) 合格多数
- 通信制大学の最短年限卒業・教員免許状取得を徹底支援
- 社会人・主婦からのセカンドキャリア構築と就職支援
- 本物の知性を磨く「完全個別指導」と「選抜制ゼミナール」
- 全国どこからでも受講可能なオンライン完全対応

あなたの人生を変える「本物の学び」が、ここにある。

教育文化経営学院 総合案内 2026

〒東京都小金井市緑町 5-13-24 現代座会館内 Tel: 03-5843-6395

URL: <https://pedagogy-s.com/> E-mail: pedagogy@pedagogy-s.com

学問による人間形成 生きていく支えとなる知性と感性を統一的に育てる

【ご挨拶】付け焼き刃の対策は、もう終わりにしよう。

「教育文化経営学院」は、2005年4月に開校し、20年以上の歴史を歩んできた教育機関です。「学問による人間形成」を理念に掲げ、単なる知識の習得にとどまらず、一生の支えとなる「知性」と「感性」を統一的に育てることを目指しています。

教育機関、とりわけ高等教育での学びは、日常生活とかけ離れた「勉強」として捉えられがちです。大学院入試や資格試験の合格を目標とする場合、その傾向はより顕著になるでしょう。

しかし、私たちは専門的な学問を志す以前に、日々の生活を営む一人の人間です。人間としての根源的な力を高めることなしには、学問における成功も一時的なものに過ぎません。

質の高い豊かな生活を送ること。それこそが、人間力を高めるための不可欠な土台です。そして日々の学びもまた、試験突破のためだけではなく、生涯にわたって通用する「教養」であるべきではないでしょうか。

「勉強はできるが、人間的には……」と言われるような学びは、本質的な知性とは呼べません。高い知性を備えた人は、自ずと高い人間性を備えているはずで、質の高い知性に裏打ちされた人間性は、その人の身のこなし、言葉、書く文章に必ず現れます。

そのような「本物の知性」を身につけた人にとって、大学院入試や資格試験、学術論文の執筆、そして質の高い仕事は、決して乗り越えられない壁ではありません。当校は、どこへ行っても一人で学び続けていける「学び方の獲得」を強力にサポートします。

合格はゴールではありません。その先でどんな研究をし、どんな教師になり、どう社会に還元していくのか。学生さんお一人おひとりの人生の豊かさを、私たちは共に本気で考えていきたいのです。

想像もしなかった自分へ。——「当たり前」の基準を変える場所。

「実力があれば、成功は必ずついてくる」——私たちは小手先のテクニックではなく、知性と感性を統一的に育てる「学問による人間形成」を目指します。

- ・ 難関教職大学院合格率 100%
- ・ 通信制大学 最短年限卒業
- ・ 教員採用試験 現役合格
- ・ 学部生による学会誌への論文掲載

これらは奇跡ではありません。教育の成果であり、当校の「日常」です。

あなたが教わりたいのは、どんな先生ですか？

想像してみてください。あなたはどちらの先生に学びたいですか。また、どちらの先生に大切なお子さんを預けたいでしょうか。

A：よく耳にする学生・教師の姿

- ・ 「入試は情報戦」と割り切り、「コスパ」重視で合格のみを考える。
- ・ 「試験に出ないから」と、自分の狭い尺度で学びを切り捨てる。
- ・ 生成AIにレポートを書かせ、いかに効率よく単位を取得するかを考える。
- ・ 合格後、「勉強から解放された！」と教科書をすぐに売ってしまう。

B：学ぶ喜びを知っている学生・教師（当校が目指す姿）

- ・ 「何からでも学べる」と、どんな本や講義も面白がり、吸収する。
- ・ 勉強に夢中になっているうちに、気づけば高い壁（試験）を突破している。
- ・ 試験が終わると「これでやっと、もっと面白い勉強ができる」と、さらに本を読み進める。

「タイパ」や「コスパ」が重視される時代だからこそ、私たちは強く問います。「あなたが心から教わりたい先生」とはどのような存在か。それこそが、教育文化経営学院が命を懸けて育てる「理想の教師像」です。

子どもたちの前で恥ずかしくない自分へ。

「勉強はできるけれど人間的には……」そう言われてしまうとしたら、それは「質の悪い勉強」をしてきた結果かもしれません。人間的な成熟を促すことができないとしたら、それは知性の名に値しません。

すぐに役に立つテクニックは、すぐに役に立たなくなります。

当校が目指すのは、どのような環境に置かれても通用する本物の実力。そして、教師になった後も一生の支えとなる「学ぶ力」の獲得です。

特別な魔法はありません。しかし、正しい方法で地に足をつけて学べば、合格は「必然」となります。当校は、単なる試験対策予備校ではありません。一生通用する「教育者としての知性」を磨き上げる修業の場です。

本物の教師を目指すのなら、ぜひこの基準（スタンダード）で共に学びませんか。

今の学力は問いません。必要なのは「学力」よりも「学ぶ力」。

「本をこれまで読んでことがない」「文章がまったく書けない」という状態からスタートし、最短で通信制大学を卒業して、立派に教壇に立っている卒業生が当校にはたくさんいます。

大切なのは、いま持っている知識量ではなく、これからどれだけ集中し、夢中になれるかということ。その「学ぶ力」への熱意さえあれば、人はどこまででも成長できます。

過去や経歴は一切関係ありません。「私なんて」という思い込みを捨て、今、ここから、本物の教育者への道を歩み始めましょう。

あなたの「欲しい」に応えることだけが、教育でしょうか？

教育の現場では、しばしば2つの想いがぶつかります。教師側の「自分の専門分野を伝えたい」という情熱と、学生側の「自分のニーズ（やりたいこと）に応じてほしい」という期待です。私たちは、そのどちらとも異なる考え方を持っています。

教師の側に教えたいことがあったとしても、まずは相手のいる場所に歩み寄る。それが教育のスタートラインです。しかし、ただ相手の世界に留まるだけでは、教育とは言えません。対話を通じて、本人も教師自身も予想していなかった新しい世界へと可能性を広げていくこと。「個」に徹底的に寄り添いながら、同時に「未知」へと連れ出す。それが、私たちの考える教育のあり方です。

「想像の枠(フレーム)」を壊す指導

人は、自分が「知っていること」の中からは、やりたいことを選べません。しかし、世界はもっと広く、深いのです。

あなたが無意識に引いてしまった限界線を、私たちは軽々と書き換えていきます。

【実績紹介】自己評価を超えた提案が、人生を変える。

「その人の資質が最も輝く場所」を提案し、想像以上の未来を実現させた当校の実例です。

Case 1：不安で自信がない → 正規教員へ一発合格

- ・ Before: 社会人3年目。「教員採用試験には受からないだろうから、教職大学院へ」。
- ・ After: 本人の秘めた資質を見抜き、大学院だけでなく教員採用試験の受験も強く提案。結果、見事採用試験に合格し、現在は正規の教員として堂々と活躍中。

Case 2：学部編入希望 → 旧帝大系 大学院合格

- ・ Before: 大卒だが免許がない。「免許を取るために、もう一度大学（学部）へ編入したい」と来校。
- ・ After: 基礎学力と研究関心の高さから、学部編入ではなく、免許取得可能な「旧帝国大学系大学院」への挑戦を提案。見事合格し、より高度な研究の道へ。

Case 3：大学専攻科志望 → 国立大学院合格

- ・ Before: 「学力が低いので大学院なんて考えていない」と自己評価が低かった。
- ・ After: 励ましと共に、具体的な勉強方法の指導で苦手意識を克服。無事、国立大学院に合格。

Case 4：漠然とした学習意欲 → 大学講師へ

- ・ Before: 子育てが一段落し「漠然と勉強がしたい」と大学院を目指す主婦の方。
- ・ After: 指導の中で才能が大きく開花し大学院合格。修了後も当校で論文指導を継続し、学会誌への掲載を実現。現在は大学等の講師として活躍中。

なぜ、このような飛躍的な実績が出るのか。

それは私たちが、あなたが自覚している「ニーズ（欲しいもの）」ではなく、あなたの「ポテンシャル（なり得る姿）」を信じて見つめているからです。あなたが自分自身に期待する以上に、私たちはあなたに期待し、引き上げます。

教師になる夢を叶える！ 教育文化経営学院の学びの全体像

【ゼミナール】 学びを深め、研究を推進する。

【大学院入試対策】 専門知識を深め、進学を目指す。

東京学芸大学コース / 早稲田大学コース / 教員免許取得大学院コース
教職大学院コース / 大学院入試コース / 特別対策コース

【大学編入対策】 学びの場を変え、新たな挑戦をする。

大学編入コース / 英語無しの国公立大学受験コース / 特別対策コース

【修学支援】 自学自習を助け、学業を完遂する。

通信制大学サポート校 / 理系学修支援コース / 論文指導コース

【資格試験対策】 将来の夢に近づく資格を取得する。

小学校教員資格認定試験コース / 保育士試験コース / 特別対策コース

【教員採用試験対策】 公立・私立学校の教師を目指す。

教員採用試験コース / 二次試験・人物試験集中対策コース / 特別対策コース

ゼミナール——学問の作法を学ぶ、伝統的少人数教育

かつて「科学のメッカ」と呼ばれた戦前のドイツの大学。そこでは、選ばれた学生だけが参加を許可される「ゼミナール」が、研究の中心として機能していました。専用の図書室が与えられ、議論の中で疑問が生じれば、即座に原点を手に取り検証する——。明治以降、いくつかの日本の大学が規範としたのも、この「知の生産現場」としてのスタイルです。現在でも一部の大学では、書物に囲まれた教授の研究室で、膝を突き合せて議論する良き伝統が息づいています。

このドイツ式ゼミナールが、当時の研究水準を飛躍的に高めた理由は明確です。それは、このゼミナールという場が、教師が一方向的に知識を伝達する場ではなく、「いかに学び、いかに探究し、いかに新しい知を生み出すか」という学問の方法論（メソッド）そのものを継承する場だったからです。学生はここで、受動的な学習者から、自立した研究者・教育者へと脱皮していったのです。

教育文化経営学院では、この歴史的な文脈を受け継ぎ、オンライン上ではありますが、本格的な「ゼミナール」を設置しています。私たちが目指すのは、単なる知識の注入ではありません。「学びの作法」、そして「知の生産の作法」の獲得です。

「ゼミナール」は集団的な営みであり、その成否は参加者の質、そして場の空気に左右されます。そのため、当時のドイツの大学と同様、受講にあたっては選抜制を採用しております。まずはオンライン個別指導を通じて、基礎学力だけでなく、学ぶ姿勢やゼミの雰囲気にも調和できるかを総合的に判断させていただきます。

ハードルは高いかもしれませんが、学習効果が最も高いのが、このゼミナールです。当校が高い実績を維持し続けている理由は、まさにこの場に 있습니다。本気で学びたい、本物の知性を身につけたいと願う方の挑戦を、心からお待ちしております。

受講条件：各コース（特別対策コース以外）を受講し、許可された者

学費：入学金 無料 / 受講料 110,000 円（10 か月間有効）

開講日：受講生と相談のうえ決定（月に 1 回程度）

教育文化経営学院を支える 12 の特長

1. 「一貫サポート」とそれを支える強固な指導体制

① 目標達成まで寄り添う「一貫サポート」

当校が掲げる「一貫サポート」には、大きく2つの意味が込められています。

一つは、教育者としてのあらゆるステージを網羅するサポートであること。

【基礎をつくる】（通信制大学卒業・教員免許状取得等）

【職を得る】（採用試験対策）

【高みを目指す】（大学院進学・論文指導）

の一貫サポートのうち、ご希望の部分を受講することができます。

もう一つは、担当講師が一貫して指導すること。「毎回先生が違う」といった予備校にありがちな不安は一切ありません。自力で学んでいくための「学習方法」まで丁寧にフォローし、自立した学びを支援します。

② 現状と目標に合わせた「完全個別指導」と「本格ゼミナール」

17歳から70代以上の方まで、当校で学ぶ方の背景や学力は多岐にわたります。そのため、一対一の完全個別指導を基本とし、皆さまに最適な専用カリキュラムをご用意しています。

さらに当校の特色として、伝統的なドイツの大学をモデルにしたオンラインの「ゼミナール（選抜制）」を設置しています。「いかに学び、探究し、新しい知を生み出すか」という学問のメソッドを議論を通じて学ぶ、圧倒的な学習効果を生む場です。

2. 専門性の高い分野での確固たる指導実績

③ 圧倒的な合格実績「教職大学院合格」

指導歴20年以上の経験と専門知識を兼ね備えた講師が、確かな結果に導きます。東京学芸大学教職大学院、早稲田大学教職大学院、および「教員免許状の取得できる教職大学院」への合格率は、過去15年以上にわたり100%という圧倒的な実績を維持しています。国立大学大学院をはじめとした難関大学院へも数多くの合格者を輩出しています。

④ 修学を助ける「通信制大学サポート校」

自学自習が中心となり、孤独で挫折しがちな通信制大学の学びを、プロが手厚くサポートします。担当講師は、複数の通信制大学を自ら最短年限で卒業し教員免許状を取得した経験者です。入学校の選定から、レポート作成、単位取得、卒業論文の執筆まで力強く伴走します。

⑤ 働きながら・最短ルートで「教員免許・資格取得」

大学等に入り直すことなく、働きながら最短ルートで教員免許状や資格を取得したい方の挑戦を、確かなノウハウで全力サポートします。「小学校教員資格認定試験」や「保育士試験」など、対策本の執筆経験があり試験内容を熟知した専門講師が担当します。

3. 一人ひとりの人生に寄り添う指導

⑥ 最適な道を探す「丁寧な進路相談」

すぐに入学・学習開始の態勢が整っていなくてもご安心ください。まずは現在のご事情やご希望の進路を丁寧にお伺いし、「その方にとって最善の学びは何か」を一緒に考えます。想定もしていなかった素晴らしい進路に進まれる方も少なくありません。

⑦ 夢を叶える「社会人・主婦の就職・転職支援」

別のお仕事をしながら教師を目指す社会人の方、主婦・主夫の方、セカンドキャリアで生涯学習を目指す方を強力にバックアップしています。ご都合に合わせて、授業の曜日や時間帯、学習ペースを自由に設定できるため、無理なく着実に試験対策を進められます。

4. 多様なライフスタイルへの柔軟な対応

⑧ 思い立ったその日から「いつでも授業開始可能」

当校には一斉講義のような、決まった「授業開始日」はありません。一人ひとりに合わせた個別カリキュラムのため、熱意が湧いたそのタイミングで、いつからでも学習を始めることができます。「いつまでも始めない」という状況を防ぐため、モチベーション維持のサポートも欠かしません。

⑨ 全国どこからでも「オンライン指導可能」

対面指導とまったく遜色のないきめ細かなサポートを、全国どこからでもご受講いただけます。画面共有を活用した「オンライン指導」と、回数無制限で納得いくまで書き直せる「メール添削指導」を組み合わせ、確実な実力アップを図ります。北海道と九州の学生さんが、同じゼミナールで熱く議論する光景も当校の日常です。

⑩ 急な進路変更にも対応「短期集中・入試直前コース」

「出願締切が数日後に迫っている」「一次試験通過後、すぐに面接対策が必要」といった切羽詰まった状況にも対応可能です。限られた時間の中で最大限の力を引き出す指導を行います。早朝・夜間、土日の指導も、追加料金無しで承ります。

5. 外部機関との連携・高度なノウハウの提供

⑪ 実践的な学びを広げる「外部ネットワークとの連携」

当校での指導にとどまらず、皆さまのステップアップにつながる外部ネットワークを積極的にご紹介しています。合格者や現役の先生方、学会・研究会のご紹介のほか、教育実習の受け入れ先や地方での生活体験先のご案内などあらゆるつながりを大切にしています。

⑫ 教育現場を支える「法人向けサポート」

個人向けの指導で培った20年以上のノウハウを活かし、学校法人や教育関連施設などの法人さま向けサポートも展開しています。短大・専門学校さまへの編入ガイダンスや、法人職員さまの通信制大学による資格取得支援など、専門性の高い知見に基づくバックアップを行います。

究極の責任——教育の成否は、人生の幕を下ろすときにしかわからない。

私たちは、考え得る最善を尽くして指導にあたっています。

しかし、それが本当にその人の人生にとってベストだったのか？

その答えが出るのは、合格のときでも、卒業のときでもありません。その学生さんが、いつか、人生の幕を下ろすときでしょう。

今は感謝されても、何十年か後に、「あそこの指導は子どもだましかったな」と思われてしまうのではないか——私たちは常にその不安と葛藤し、自らを戒めています。

だからこそ、一切の妥協をしません。

「当校（のようなサポート）はもう不要だ」。そう言って、自分の足で力強く歩んでいける学生を育てるために。

私たちは、自らの存在理由を消去するために全力を尽くしています。

「詳しい試験の内容を知りたい」

「自分には無理だと思っているが、本当に間に合うだろうか？」

「どのように対策をしていったらいいの？」

そんな疑問や不安、心の奥にある本当の願いを、私たちにお聞かせください。

あなたに最適な、あなたのポテンシャルを最も引き出す学習プランと一緒に考えましょう。

しつこい勧誘や無理な入会案内は一切いたしません。

あなたの未来を変える第一歩として、まずはお気軽にご相談ください。

教育文化経営学院

〒184-0003 東京都小金井市緑町 5-13-24 現代座会館内

Tel : 03-5843-6395

URL : <https://pedagogy-s.com/>

E-mail: pedagogy@pedagogy-s.com